



なかのかみ

校訓

至誠

令和3年9月21日

第9号

海南市立中野上小学校

ホームページ <http://www.naka-sho.kainan.ed.jp/>

読書に親しむ

少し秋の気配が感じられるようになりました。これからは徐々に過ごしやすくなり、物事に集中して取り組むことに適した時期で、「芸術の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」と言われます。その中で、読書に一番適した季節であるということから由来する読書の秋。

中国・唐代の文人である韓愈（かんゆ）が残した言葉の中に「燈火（とうか）親しむべし」という一説があり、これは「秋の夜は涼しさが気持ちよく、あかりで読書をするには最適である」という意味です。この言葉が、「読書の秋」の由来になっているそうです。

「本を読むことは、心を耕すこと」と言われています。本を読むことで想像の世界を広げ、考える力がつき、感性が磨かれます。そして何よりも、1人で静かに自分の時間を楽しむことができます。

保護者の皆様におかれましては、毎日お忙しいことと存じますが、休日などに少し時間を作って読書に親しむのもよいのではないのでしょうか。また、親子で同じ本を読み、感想を話し合ったりするのも親子の触れ合いとしてよいですね。

最後に、私が今まで読んだ本の中で特に好きなものを紹介させていただきます。もし、興味をお持ちいただけたら手に取ってみてください。

【文学系】

「わたしを離さないで」 カズオ イシグロ

「アルジャーノンに花束を」 ダニエル キイス

「海辺のカフカ」 村上春樹

【エンターテイメント系】

「永遠の0」 百田尚樹

「青が散る」 宮本 輝

「容疑者 X の献身」 東野圭吾

【絵本】（子どもに勧めたい本 親子で読みたい本）

「100万回生きたねこ」 佐野洋子

「火垂るの墓」 野坂昭如

「ギルガメッシュ王ものがたり」 ルドミラ・ゼーマン



学校長 小阪 一起